

留学生26名が到着し、信州大学での留学生生活をスタートしました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/cat3144/2226.html>

★2010年度全学国際交流旅行を実施しました

国際交流センターの主催により8月9日から1泊2日で全学国際交流旅行を実施し、各キャンパスから留学生58名、日本人学生17名、教職員9名の総勢84名が参加しました。屋神温泉でのグループディスカッションや交流会、翌日の妻籠宿見学など、互いの交流を深めつつ日本の伝統文化にも触れることができ、大変有意義な旅行となりました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/cat3144/post-48.html>

★「第1回こいこい松本～松本国際ふるさと祭り～」多くの信大留學生が参加

松本市在住の外国人や松本市民が互いの文化を楽しむお祭りとして、6月27日、松本中央公民館（Mウイング）で「第1回こいこい松本～松本国際ふるさと祭り～」が行われました。

国際交流センターの佐藤友則准教授が実行委員長として企画・準備をすすめてきたこのイベントには、信州大学の留學生もパフォーマーやボランティアスタッフとして多数が参加し、600名を超える来場者と楽しみながら交流を深めました。

詳細はこちら⇒

<http://www.shinshu-u.ac.jp/special/communication/index.html>

■□

□ 信大NOW No. 64, 65 のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」。最新号の目次を紹介します。

<No. 64>

◎Snap Shot1: 2010あがたの森フェスティバル

◎特集: この地球で暮らすために —「生物多様性」を考える—
team HASILA「町を生き生きさせたい！」若き志士たちの挑戦

◎Special Report: 大学院教育学研究科・心理教育相談室
心解く学びを支えたい「第1回しんしんゼミナール」を開催!

◎信大発イノベーションクリップ

- 1) 暮らしに朗報「カビや汚れにめっぽう強い画期的新塗料を開発」
- 2) 大町市×信州大学×サークルKサンクス共同企画黒部ダムカレー」販売

◎信大教員クローズアップ: 「信州産、人工衛星の夢」
電気電子工学 大学院工学系研究科 准教授 酒匂信匡

◎地域コミュニケーションパラダイス: ふるさとが松本にある
「第1回こいこい松本～松本国際ふるさと祭り～」

◎センパイの肖像: 信大OB・OG訪問 オペラ歌手 党 主税 さん

◎学生企画ページ:
学生生活!! 突撃隊 ～部・サークル・委員会活動紹介～

◎信大OBが選んだキャンパス一景:
昭和の大学生活そのままの景色「上田キャンパス・サークル棟」

<No. 65>

◎TOPICS: 世界的指揮者、小澤征爾氏に信州大学発の名誉博士称号を授与

◎Snap Shot1: 2010「青少年のための科学の祭典」長野大会を開催!

◎特集: 雨の降り方が変わってきた! 天から地へ、水の変動から未来を考える

◎地域コミュニケーションパラダイス: 里山ボランティアサークル「洞楽村」

◎Special Report: ジャーナリスト 池上彰
信州大学特任教授の夏期集中講座が行われました

◎センパイの肖像 (信大OB・OG訪問) : テレビプロデューサー 中島久美子さん

◎話題の信大生たち3 : 中村隼明さん
ニワトリの遺伝資源を守れ—若手の結束で学会のパワーアップを図る—

◎話題の信大生たち4 : 山崎慎平さん Kstmチーム信州
情報危機管理コンテストで経済産業大臣賞を受賞!

◎学生企画ページ: 学生生活!! 突撃隊 ~就職活動の実態~

◎信大OBが選んだキャンパス一景: 路地から見える赤レンガ「教育学部書庫」

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■□

□ スタッフ近況報告 下平菜穂先生
(国際交流センター非常勤講師・コーディネーター)

みなさんお久しぶりです。お元気ですか。

最近ジャズピアノを習い始めました。月に2回ほど先生のところへ行って、
レッスンを受けています。以前から作曲ソフトを使って曲を作るのが好き
だったのですが、自分がイメージしたような曲が作れず、もっといろいろ
知りたいと思っていました。そこで、思い切ってジャズピアノを習うこと
にしたのです。

習い始める前は、すぐにでも、チック・コリアやハービー・ハンコック
(どちらも有名なジャズ・ミュージシャンです) のように弾けるよう
になりたいなどと思っていました。上手になったらすごい曲が作れるかな、
とか、みんなに聞かせよう、とか、夢はどんどん膨らみます。

が、はじめてみると、全然そうはいきません。チック・コリアのよう
になりたい、と言ったら、先生に笑われました。最初に先生が選んでくだ
さったのはとても簡単な曲で、それでも私は上手に弾きこなすことがで
きず、とてもがっかりしました。ジャズのコードに頭がついていかず、
頭がついていても指がついていかず、アドリブで弾こうと思っても指
が動かず・・・といった感じです。チック・コリアのように弾けるよ
うになるのは、何十年後か何百年後かわかりません。

しかも、忙しさにかまけて練習はサボるし、言い訳はするし、うまく弾け
ないくせに理屈だけはいろいろ言うし、私は先生から見たら、困った生徒
かもしれないと思います。かつて留学生として私の授業を受けていたみな
さんが、生徒としての私の様子を見たら、吹き出すかもしれませんね。

でもとにかく、新しいことに挑戦するのは楽しいです。最初はうまくいか
なくても、だんだんできるようになっていくのはうれしいです。いつでも
いろいろなことに挑戦し続けたいと思っています。遠くで頑張っている若
いみなさんに負けないように。

■□

□ 生活ちょっとコラム ~県歌「信濃の国」~

みなさん、在学中に「信濃の国」という歌を聞いた記憶はあるでしょうか？

♪しな一の一のく一は一は一 じーっしゅーうーにー♪ という出だしで
始まるこの歌は、長野県の県歌なのだそうで、よく「生粋の長野県民なら
信濃の国は皆歌える」などと言われたりするようです。

実際、一昔前までは学校行事や各種セレモニーで歌われることが多かったとか。
長野オリンピックの入場行進も「信濃の国」だったそうですね。今でも
長野県出身の方が集まる場ではよく歌われると聞きますが、本当でしょうか…？

長野県に住むようになるまで、「県歌」というものがあること自体、私は知り
ませんでした。ほぼ全ての都道府県で「県歌」はあるんだそうです。
でも、ここまでひろく普及しているのは長野県くらいなのでは、と思います。

ちなみに我が家で「信濃の国」を歌えないのは、私と子供たちのみ。
そろそろ、長野県民らしくなるためにおぼえてみようかと、参考になる

